

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
交通概論B		交通の基礎知識を学び、 交通を考える		未定	1年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	鉄道混雑、道路渋滞、サステナブルな地方交通、国・自治体の関わり			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける				
事前に受講するとよい科目		交通概論A				
講義の目的	本講義では、交通に関する解決すべき課題や問題にはどのようなものがあるのか、また、国や地方自治体(都道府県や市町村)、さらには鉄道会社やバス会社、航空会社などの交通事業者が、そのような課題や問題だけでなく、事業者がそれぞれ抱える問題を解決するためにどのような取り組みを行っているのか、具体的な事例を基に理解を深めていく。					
到達目標	さまざまな交通に関する課題や問題に対して、自ら考える知識を身につける。					
講義内容	本講義では、交通産業と政府のかかわりを踏まえた上で、大都市、地方都市それぞれの抱える交通問題を整理し、その解決のために政府、事業者がどのような取り組みを行っているのか、財源問題も含めて解説する。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	講義の内容や進め方、成績評価、留意点の説明			
	第2講	交通産業と政府の係わり	公的な規制と規制改革の経緯			
	第3講	大都市交通の現状と課題	首都圏・近畿圏・中京圏・札幌の過密や渋滞・混雑の現況			
	第4講	大都市交通市場の交通政策	過密や渋滞・混雑を解消できる政策はあるか			
	第5講	大都市の鉄道事業	都市鉄道の問題解決に向けた取り組み			
	第6講	大都市の道路	道路渋滞・整備、バス交通の取り組み			
	第7講	地方交通の現状と課題	人口減少地域の鉄道・バス輸送の現況			
	第8講	地方交通市場の交通政策	サステナブルな地域の「足」を維持する政策はあるか			
	第9講	地方交通活性化	まちの変化・ひとの流れに適応した地方交通の取り組み			
	第10講	地方交通と沿線住民の関係	地方交通利用の第一は地域住民、マイカーがないときの「足」			
	第11講	地方交通の補助と合意形成	身近な問題として地域の交通を議論することが重要			
	第12講	地方鉄道の経営形態	線路設備を持たない鉄道会社、自治体に関わる鉄道・バス会社			
	第13講	都市交通・地方交通の今後	これからの国・自治体の交通政策・まちづくり政策			
	第14講	都市交通・地方交通の今後	都市交通・地方交通の今後を受講生とともに議論する			
第15講	まとめ	わが国の交通の現況・将来の姿を総復習する				
指導方法	レジュメ(プリント)を配布するとともに、スライドを活用しながら講義を進める。配布するレジュメは不完全であり、講義を受けながら各自で完全なレジュメを作成していく形式とする。適宜、交通に関する課題・問題に対して自らの意見(考え)をまとめ、他の履修生の意見も傾聴する。					
事前学習	(毎日5分~10分程度×7日)日頃から『交通新聞』などに目を通し、都市交通・地方交通に関する社会的な動向、情報を取得する癖をつけてほしい。気になる記事はコピーしてスクラップしておく。					
事後学習	(50分程度)取り組み事例を取り上げることが多いが、配付されたレジュメを読み返し授業を復習する過程で、自分の住んでいる地域あるいは自分が生まれ育った地域の交通の取り組みはどうなっているか、自ら調べて、まとめておく。					
成績評価方法	本試験(筆記試験)48%、平常点(小テスト、レポート等)52%、計100%で成績評価する。					
テキスト	毎回、レジュメを配布するので、特にテキストを指定しない。					
参考書籍	田邊勝巳、『交通経済のエッセンス』、有斐閣、2017年。竹内健蔵、『交通経済学入門』(新版)、有斐閣、2018年。					
特記事項	内容は変更になる場合があります。その際は改めて連絡します。					